

試作から量産品まで一貫体制 国内外で生産性を増強

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



金属加工製品のサンプル一覧

業務内容 JISQ9100や 医療機器の製造販売承認

「カジテック」はアルミや難削材の切削加工を中心に、試作から量産品まで顧客の多種多様なニーズに応じ、豊富な設備と創業以来培った金属部品加工の技術力で成長してきた。ISO9001やISO14001の認証取得をはじめ、平成30年には航空宇宙・防衛産業の品質マネジメントに関する国際規格JISQ9100の認証を取得。さらに、大阪府から医療機器の製造・販売の許可を承認され、先端分野にも力を入れている。

強み 豊富な設備と協力企業の ネットワークを活用

豊富な保有設備により最長4mの大型部品から米粒サイズの微細加工まで多彩な加工に対応できるのが強み。金属部品加工を中心に事業を拡大するとともに、各マシニングセンター(MC)や同時5軸MC、NC(数値制御)旋盤、複合機、ワイヤー放電加工機などの設備拡充に注力した。大阪府下のものづくり中小企業など信頼できる10数社のネットワークを活用し、板金や樹脂加工も手がけている。また、コスト重視の量産品は海外、高付加価値な試作・単品は国内と、これまで以上の生産最適化を目指し、トータルで生産ボリュームとコストメリットを提供する。

海外展開 中国とベトナムで 量産体制確立へ

同社の生産拠点は大阪府の本社3工場と海外は中国・大連で展開する。加えて平成



大連工場の外観と従業員たち



本社工場に導入した縦型MC

今後の展望 先端分野の売上げ伸ばし 自社ブランド実現目指す

今後は電力、メデイカル、ロボット、航空・宇宙関連など先端分野の売上げをさらに増やす方針だ。電力分野は燃料電池関連、ロボット分野は半導体製造用などの大物からアームなどの小物まで、航空・宇宙分野は航空機部品のさらなる受注拡大を狙う。メデイカル分野は平成30年4月に設立した医療事業の子会社「がけん引」。先端4分野を伸ばすことで、早期に売上高10億円突破を目指す。

梶原吉彦社長は「将来は自社ブランド製品を持ちたい」と夢を語る。一番可能性の高い医療機器で、自社ブランド製品の第1号を実現させたい考えだ。

当社の歴史



平成4年に大阪府東大阪市で金属加工業を創業。同7年、同門真市への移転を機に従業員と機械設備を拡充しました。大手メーカー向け放熱板の量産品加工から始まり、多種多様な試作品から量産加工まで注力。同31年1月のベトナム工場稼働にともない、より生産ボリュームとコストメリットを提供していきます。

代表取締役 梶原 吉彦さん

<http://kajitech.co.jp/>

主な事業内容

航空機など先端4分野のアルミや難削材などの試作・量産品を加工

主な取引先(納入先)

電気・電子部品、エネルギー、ロボット、半導体、医療機器メーカーなど

●住所

〒571-0017
門真市
四宮3-8-43

●TEL

072-883-1596

●FAX

072-881-9600

●創業

平成4年3月

●設立

平成8年8月

●資本金

1,400万円

●従業員

41名